

鹿島市橋梁長寿命化修繕計画



鹿島大橋 1987年架設

令和2年3月

(令和3年10月 短期投資 追記)



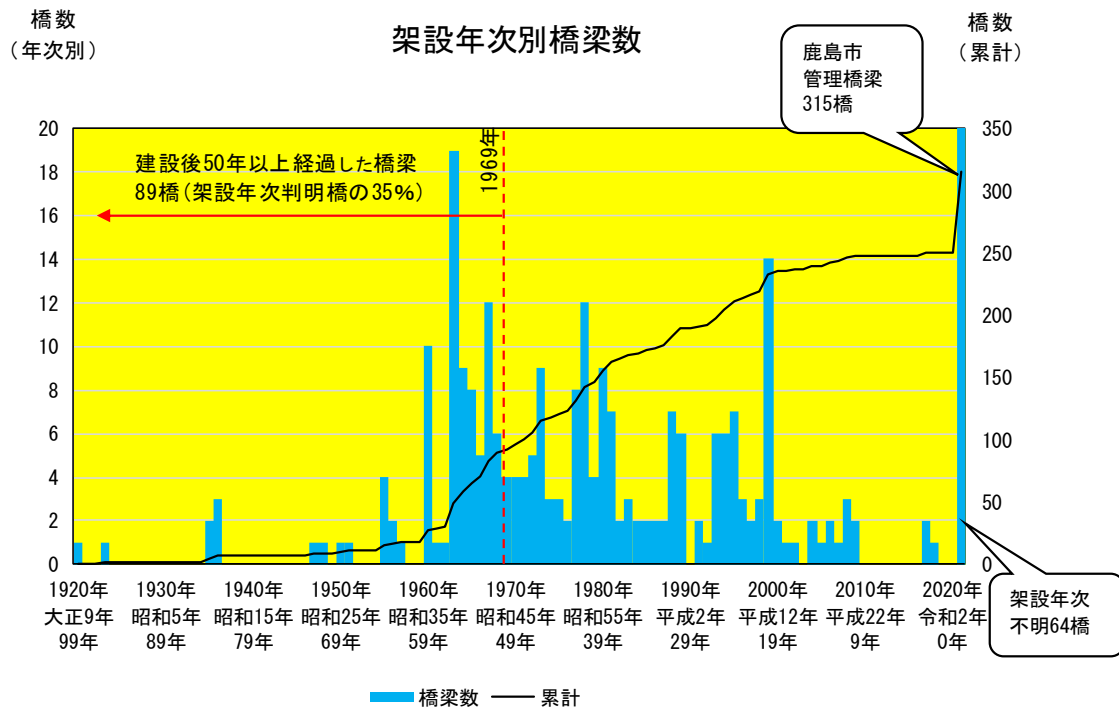
鹿島市

長寿命化修繕計画の背景・目的

◆ 背景

鹿島市が管理する橋長 2m 以上の橋梁 315 橋の内、建設年次の判明している 251 橋の年次別の架橋状況は下図の通りです。その多くは 1960 年代の高度経済成長期に建設された橋梁で、建設後 50 年以上の高齢化橋梁は現在では 35%ですが、今後 10 年で 57%となり、さらに 20 年後において高齢化橋梁は 73%と急激に増加します。

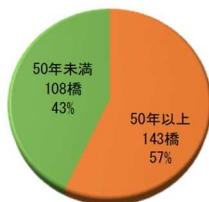
そのため、今後高齢化していく橋梁に対して、従来の対症療法的な維持管理では架替えや修繕費用が増大し、一定時期に費用が集中することが予想されるために、適切な維持管理を続けることが困難となる可能性があります。



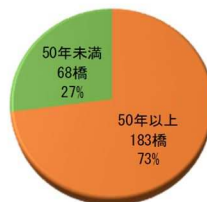
2019年 (現在)



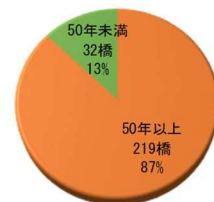
2029年 (10年後)



2039年 (20年後)



2049年 (30年後)



■ 建設後50年以上経過した橋梁

◆ 目的

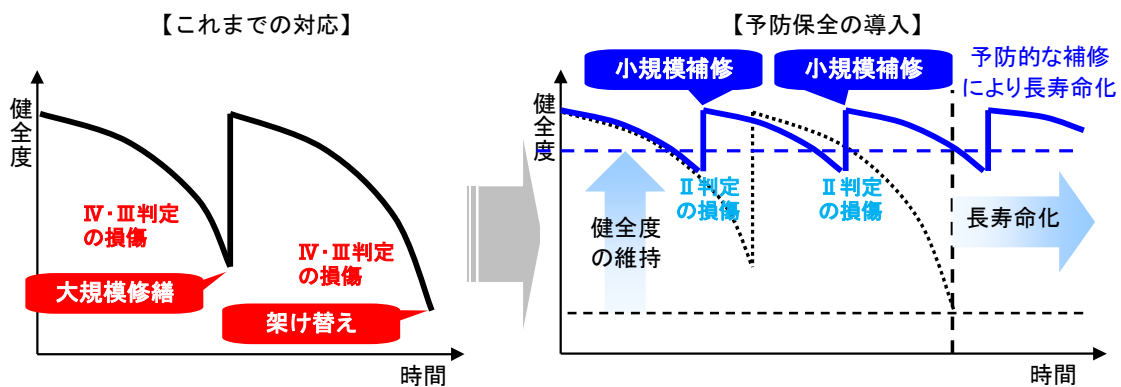
これまでの対症療法的な対策から、損傷が比較的軽微な段階で予防的対策の実施へと転換することにより、次の事項の実現を目指します。

① 交通の供用や安全性の確保（サービス水準の確保、橋梁の安全性の確保）

定期的に橋梁点検を実施し、橋梁に生じる損傷を早期に発見し、より効果的な対策を実施することにより、道路交通の安全を確保します。

② ライフサイクルコストの縮減・予算の平準化

橋梁の修繕費用を長期的な視点から縮減し、かつ対策費用が一定時期に集中することを回避します。



予防的対策による長寿命化のイメージ

◆ 対象橋梁

鹿島市橋梁長寿命化修繕計画は、鹿島市が管理する橋長 2m 以上の橋梁 315 橋を対象に実施します。

長寿命化修繕計画橋梁	橋梁数
橋長 5 m 以上の橋梁	53 橋
橋長 5 m 未満の橋梁	261 橋
撤去予定橋梁	1 橋
合計	315 橋

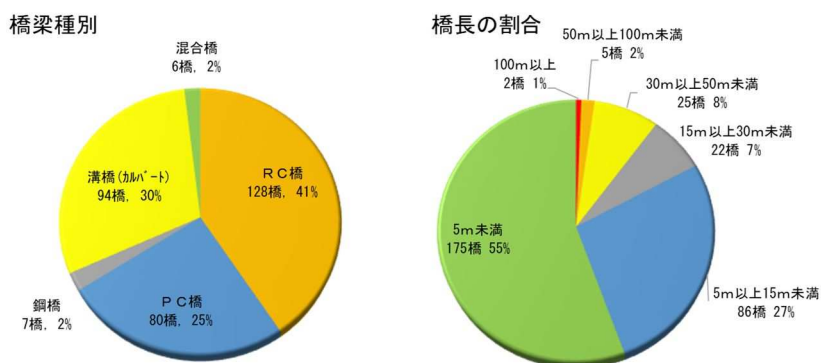
対象橋梁の現状

◆ 対象橋梁の橋梁種別・橋長割合

橋梁種別は「鋼橋」「PC橋」「RC橋」「溝橋（ボックスカルバート）」に大別されます。

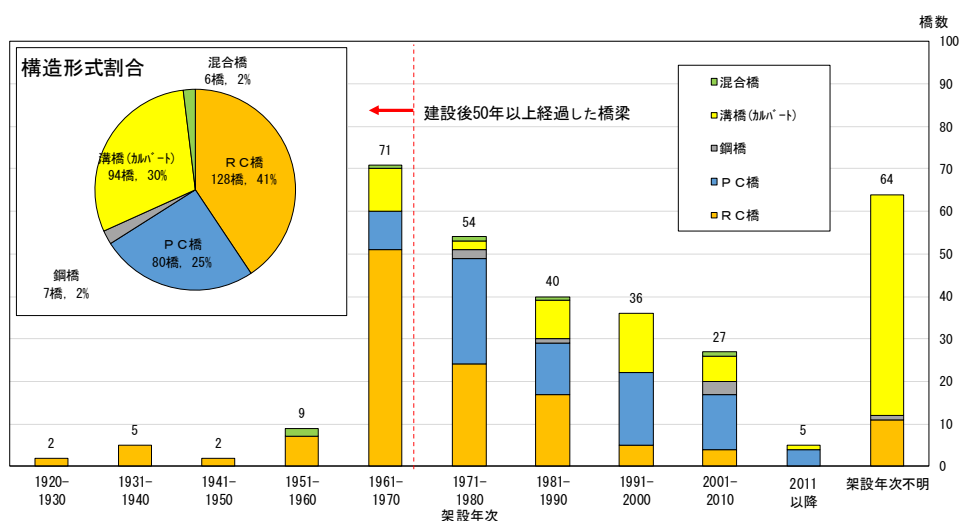
橋梁の種類はRC橋と溝橋（ボックスカルバート）で7割強を占めています。今回は橋長2m以上～15m未満の橋梁が追加されたために、その橋長に多い橋種であるRC橋や溝橋（ボックスカルバート）の割合が増えています。

橋長の割合を見ますと、今回は2m以上の橋梁315橋（内15m以上54橋）が対象であり、概ね半数が5m未満の橋梁です。1橋当たり維持費が大きい100m以上の長大橋（2橋）に合わせて、橋長の短い橋をいかに効率的に管理していくかが課題となります。



◆ 橋種別架設年次

橋種別架設年次は、下図に示すように1970年代までは、RC橋が多く、建設後50年以上の高齢化橋梁のほとんどがRC橋です。



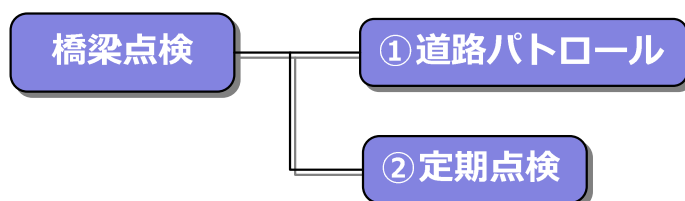
長寿命化への取り組み

◆ 点検の実施

橋梁の定期点検は、5年に1回の頻度で行うことを基本とします。

橋梁を良好に保つため、日常的な維持管理として「道路パトロール」を実施するとともに、清掃や土砂詰まりの除去等、比較的対応が容易なものについては日常の維持作業により措置します。

また、状況に応じて特定点検・異常時点検を実施し、無補修・無補強の末に落橋に至るような重大な社会的損失を防止し安全と安心の確保に努めます。



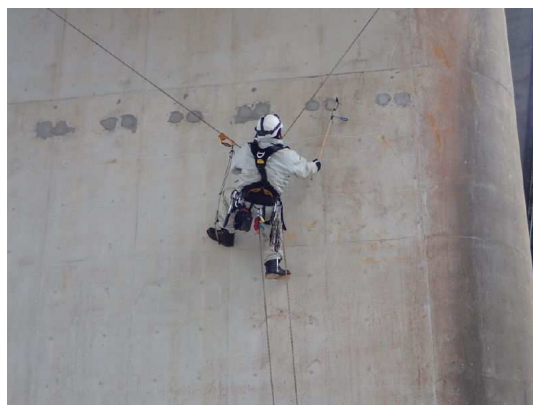
◆ 実施内容

点検名称	道路パトロール	定期点検
点検の内容	日常の通行安全性・使用性の確認（パトロール車両による）	橋梁の安全性・使用性・耐久性の確認
点検者	市職員	専門家、市職員

◆ 定期点検の状況



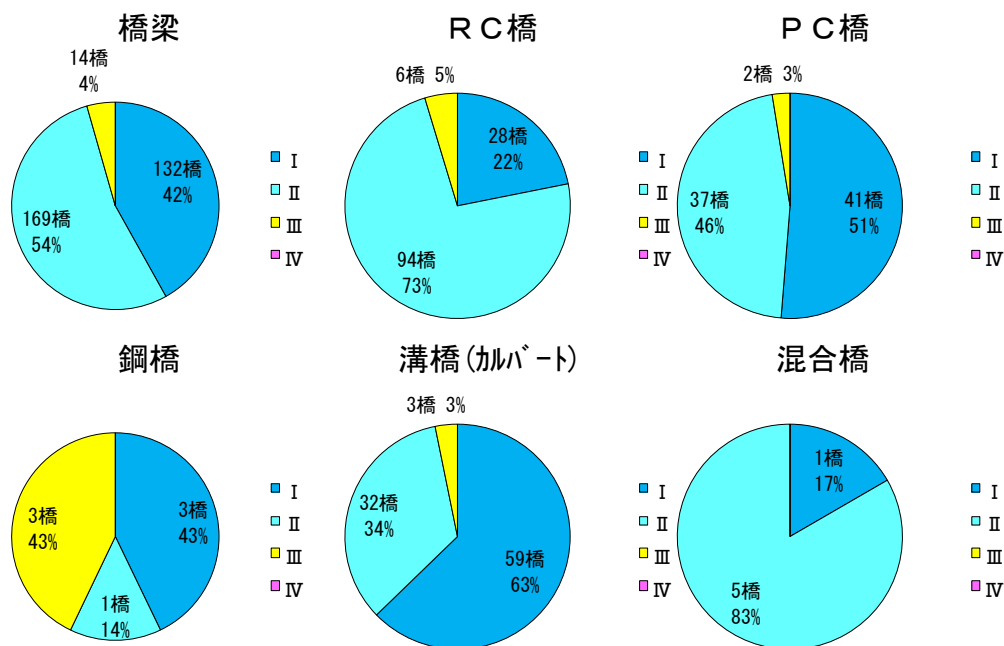
鹿島大橋



丸木庭橋

◆ 橋梁毎の健全性判定区分

最新の定期点検結果より健全性割合は下図のとおりです。健全性Ⅰの橋梁が42%を占め、予防保全が望まれる健全性Ⅱの橋梁が54%を占め、早急に補修が望まれる健全性Ⅲの橋梁が4%となっています。緊急措置の必要な健全性Ⅳの橋梁は存在しませんが、補修が必要な橋梁が約60%を占める状況です。



区分		状態
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

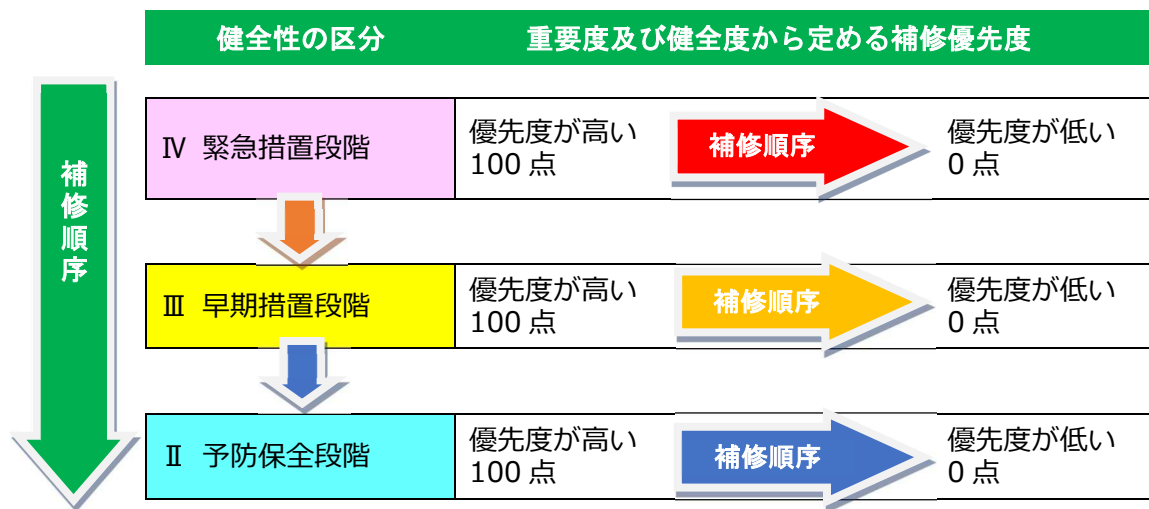
【出典:橋梁定期点検要領 H26.6 国土交通省 道路局】

対策優先順位の設定

◆ 橋梁の優先順位の設定方針

限られた予算の中で、健全度の低い橋梁の中から優先的に補修を実施していく橋梁を選定する必要があります。そこで、長寿命化修繕計画において補修を行う優先順位を設定します。

修繕計画における補修順序は、健全性の区分Ⅳ→Ⅲ→Ⅱの順で行い、各健全性の区分の中での補修順序は、「健全度」及び「重要度（住民サービス供する度合）」から定める補修優先度により計画的に実施します。



補修順序の考え方

◆ 補修優先度の設定

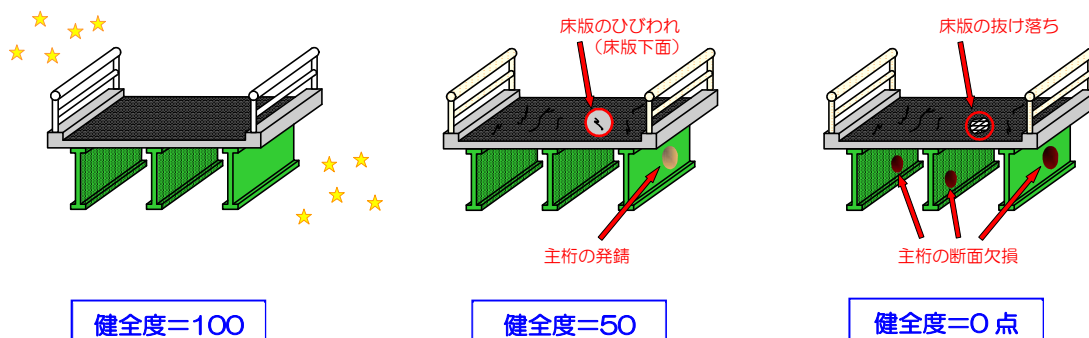
補修優先度は、構造物の健全度を指標とすることを基本としますが、利用者の多い橋梁や重要路線の橋梁を先に対策することが利用者へのサービス向上やリスク回避につながるため、劣化状況以外に橋梁自体の優先性を評価し、対策の優先順序に反映します。これにより効果的な維持管理につなげていきます。

$$\text{補修優先度} = \alpha \times (100 - \text{健全度}) + \beta \times \text{重要度}$$

α、β値は、損傷度を重視することを基本とし、重み係数をα=0.7、β=0.3と設定します。ただし、今後計画の検証を行い、見直しを行います。

◆ 橋梁の健全度評価手法

健全度は0～100で表現します。損傷が無ければ100で、発生している損傷の状態に応じて減点されることとなります。



健全度のイメージ

◆ 橋梁の重要度評価手法

重要度は、路線の特徴（重要性）や立地条件、利用者・周辺住民に対する影響、被災時の影響、橋梁の耐久性、効率性を総合的に評価する指標と考えます。

第一段階	第二段階	第三段階	
評価項目	評価項目	評価項目	区分
利用性	平常時の利用性	道路種別	一級市道
			二級市道
			その他市道
		バス路線	該当 非該当
	被災時の利用性	DID※1	該当
			非該当
		緊急輸送 接続路線	該当
			非該当
迂回路	無		
	有		

※1) DID：人口集中地区（じんこうしゅうちゅうちく）とは、日本の国勢調査において設定される統計上の地区である。英語による"Densely Inhabited District"を略して「DID」とも呼ばれる。（ウィキペディア（Wikipedia）より）

第一段階	第二段階	
評価項目	評価項目	区分
被害波及性	交差物件	鉄道
		道路
		その他
	添架物件	有 無
耐久性	適用示方書	～昭和14年～
		昭和31～47年
		昭和55年～
	上部工形式	ゲルバー形式
		2径間以上の単純桁
		その他
	下部工形式	パイルベント形式
		柱式、壁式
その他		
効率性	補修難易度	鉄道
		道路
		河川
		その他

重要度の設定項目イメージ

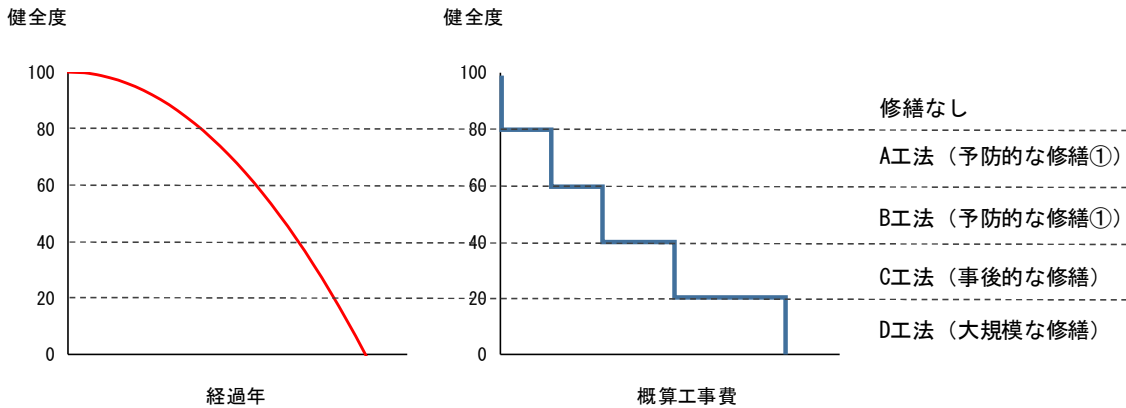
健全度に対する対策工法の設定

◆ 対策工法の設定方針

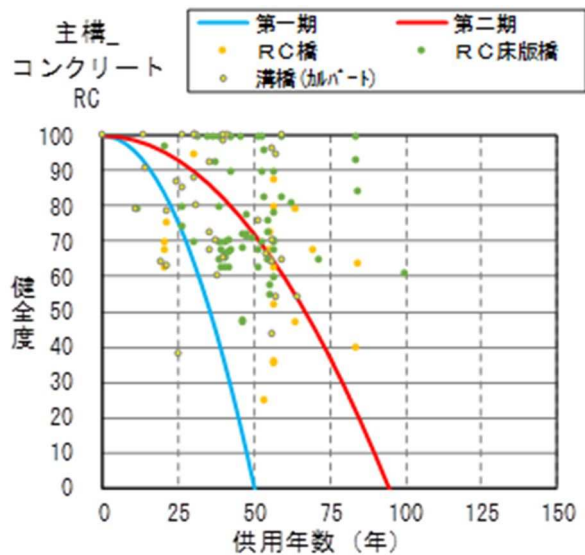
対策工法は損傷程度により変化します。

例えば、これまでの損傷が顕著になった段階で修繕を実施する場合は、健全度が20点以下の損傷状態になるために大規模な補修が必要となります。しかし、早期に損傷を補修する予防保全の場合、損傷が軽度であるために補修費用は少なくなります。

対策工法は下図に示すように健全度により工法を設定し、補修費用を算出します。将来の健全度は、現在の部材損傷状況から劣化曲線を設定して推定します。



健全度と対策工法の概算工事費のイメージ



劣化曲線 (劣化予測) のイメージ

長寿命化修繕計画の策定

◆ 点検計画

定期点検は、近接目視により5年周期で鹿島市が管理するすべての橋梁に対して行うことを基本としています。

◆ 短期投資

短期維持管理目標

集約化・撤去

点検において判定Ⅲとなった橋梁は、地域特性や利用状況調査に応じて集約・撤去・機能縮小について検討を行います。

新技術の活用

〈点検〉

令和3年度から外部委託によって実施する定期点検において、点検支援技術 性能カ
タログより活用できる新技術の検討を行い従来点検と費用面及び点検効率について比
較を行います。（例：ドローンによる近接目視、画像解析診断等の点検効率化）

特に、ロープアクセス調査等を必要とする高橋脚等の損傷確認で、費用の縮減や事業
効率化の効果が見込まれる橋梁32橋（約1割程度）については、発注仕様もしくは
発注後の業務計画にて新技術を活用した点検の検討を推進します。

〈修繕〉

令和3年度から行う修繕については、新技術の活用を検討します。（例：新材料、新
工法）修繕工事においては、発注件数の約5割を目標に新技術の導入を実施します。

費用削減

〈点検〉

・新技術を活用することで、従来点検と比較して従来点検費用の1割程度の費
用縮減を図ります。

・1980年以降に架設された橋梁で、橋長5m以下かつ高さが3m以下の橋梁
（33橋）については、市職員で点検を実施することで、7百万円程度の費用削
減を目指します。（市職員で点検可能と判断された橋梁については、随時追加し
ます。）

〈修繕〉

・新技術を活用することで、より長寿命化を図り将来的な費用縮減を図ります。

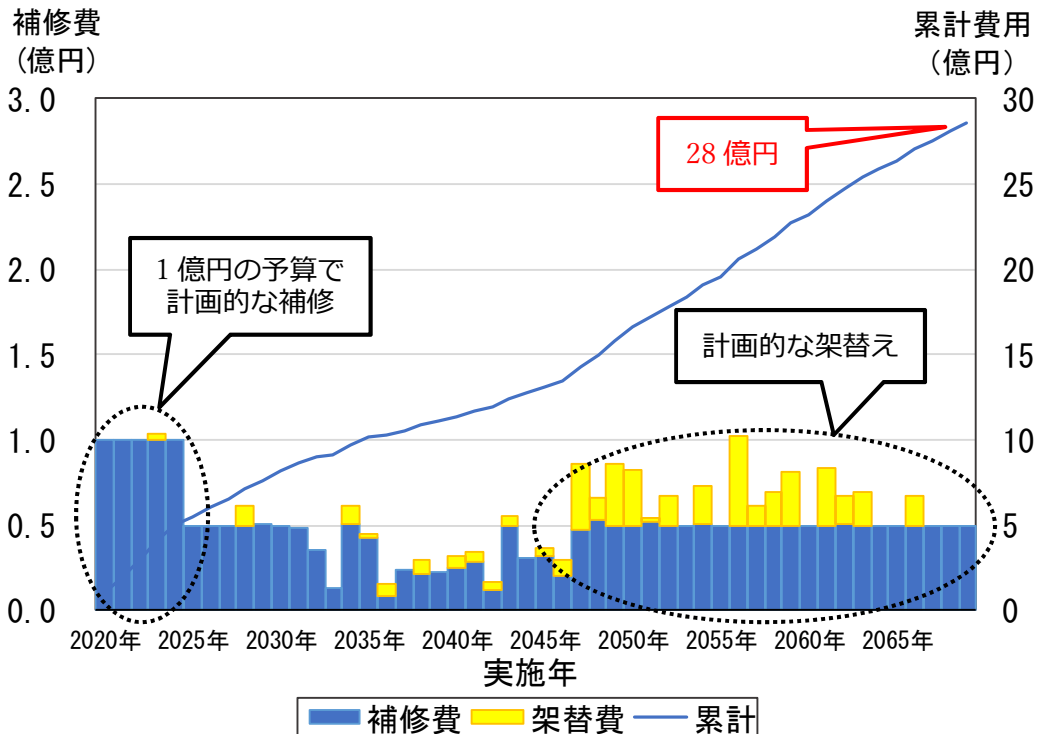
◆ 中長期投資

中長期維持管理目標

中長期の維持管理目標は、予算の平準化を図りながら、橋長 3m 以上の橋梁において部材健全度 40 を確保するよう予防的な修繕を行います。橋長 3m 未満の橋梁においては半数がボックスカルバートであり、剛構造であるため損傷が進行しても落橋する可能性は極めて低い。また、橋長 3m 未満の RC 橋では、補修を行うよりボックスカルバートに架替える方が経済的になるケースもある事から橋長 3m 未満の橋梁については事後保全的な修繕で計画することとします。

中長期シミュレーション結果

今後 50 年間の投資シミュレーションを行った結果、維持管理の投資予算を当初 5 年間については約 1 億円/年、6 年目以降については約 0.5 億円/年とすることによって、上記の維持管理目標を満足することとなりました。ただし、このシミュレーションはこれまでの定期点検データを基に中長期的なスパンで行ったものであり、今後の詳細調査や補修状況により必要に応じて見直しを行うものとします。

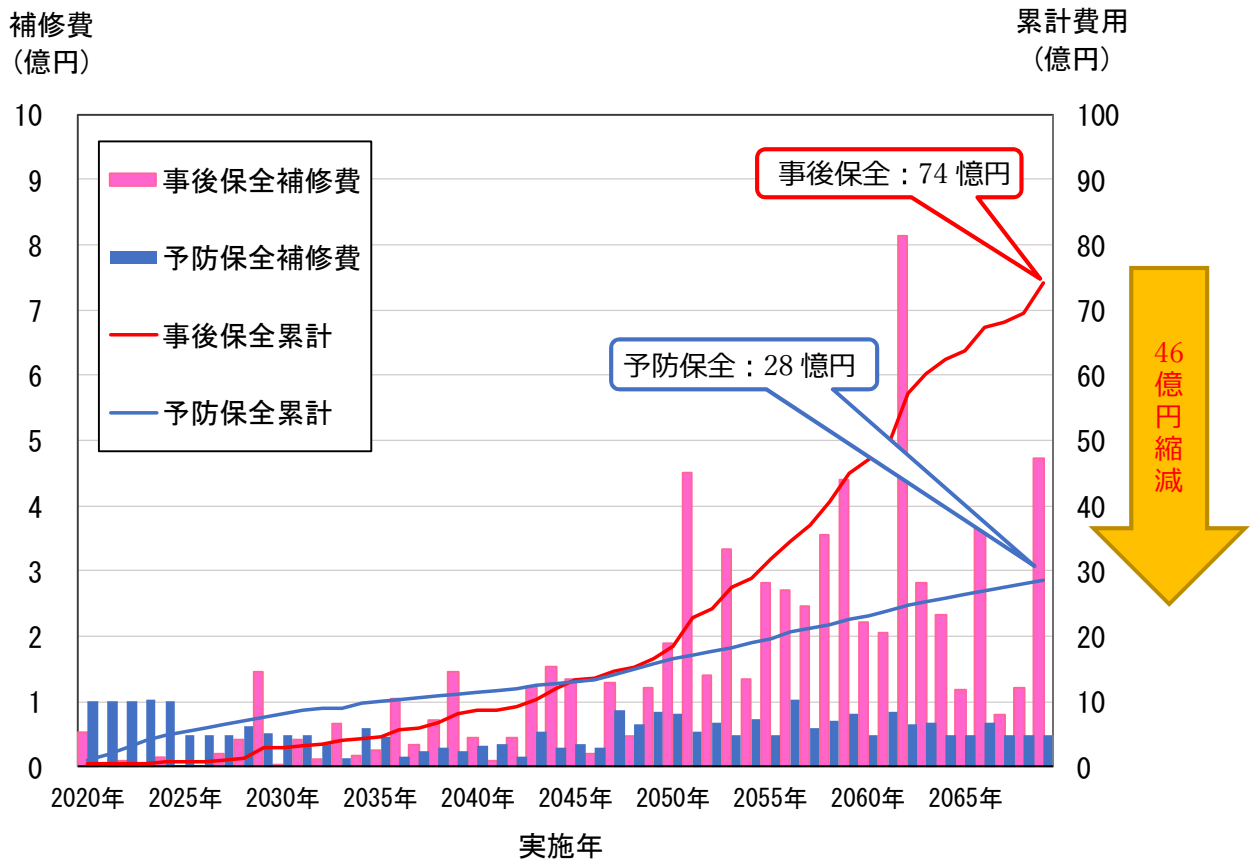


◆ 長寿命化修繕計画の効果

鹿島市の管理橋梁に対して、損傷が顕著になった段階で対症療法的な対策（事後保全型補修）を実施した場合と、損傷が軽微な段階で予防的な補修を実施した場合（予防保全型補修）の50年間の事業費を試算しました。試算の結果、事後保全型修繕の総補修費は74億円に対して予防保全型修繕は28億円となり、46億円（約60%）のコスト削減効果があることがわかりました。

橋梁長寿命化修繕計画の実施により、ライフサイクルコストの削減及び予算の平準化が図られることが期待できます。

	事後保全型	予防保全型	削減効果
必要補修費	74億円	28億円	46億円

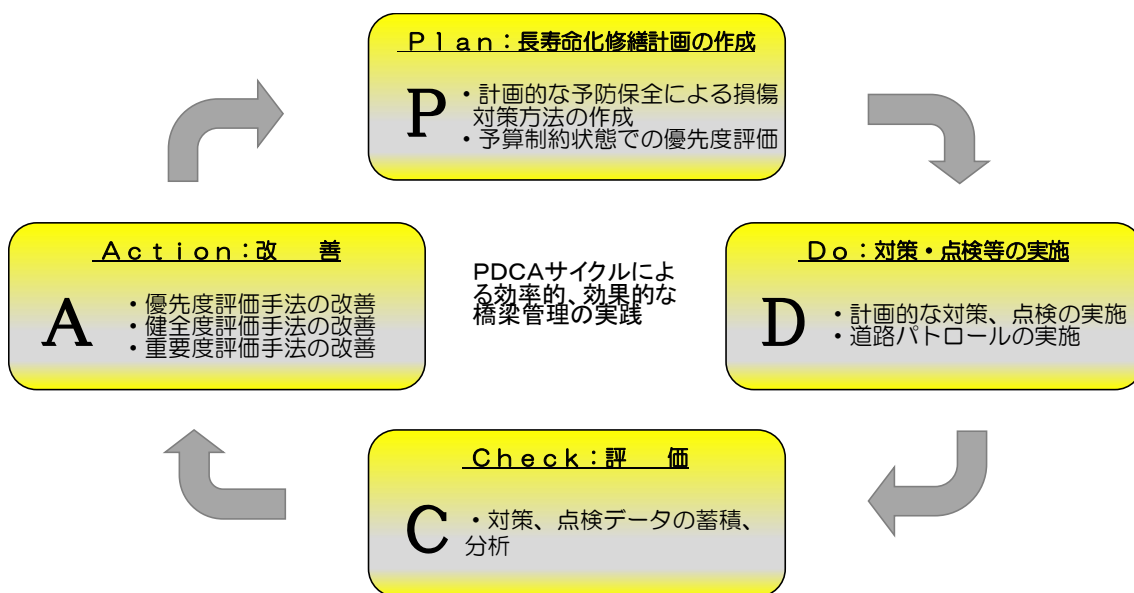


計画の検証

今回策定した長寿命化修繕計画は、平成30年までに実施した点検結果を基に計画を策定しています。そのため、今後は、年度毎に実施した対策の結果及び点検結果を分析し、長寿命化修繕計画の検証を行います。また、定期的な点検結果をデータベースに反映させることで管理橋梁の状態(健全性)を常に把握し、PDCAサイクルを継続的に実施していきます。

また、定期点検によって前回点検との比較による損傷の進行性や周辺環境の変化など知見やノウハウの集積を踏まえて、社会経済状況など時代の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。

- 対策実施の達成度により実施効果を検証します。
- 必要に応じて橋梁点検マニュアル、維持管理計画の見直しを実施します。
- 長寿命化修繕計画は、予防保全的な修繕に向けた見直しを行うことを基本とします。なお、大規模な見直しを行う場合は、学識者などの意見を聴取します。



橋梁維持管理計画のフロー

◆ 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

計画策定担当部署

鹿島市 建設環境部 都市建設課 Tel: 0954-63-3415

意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

佐賀大学 理工学部 理工学科 伊藤 幸広 教授

【様式1-2】

橋長3m以上橋梁の10箇年補修スケジュール

補修順位	橋梁名称	路線名称	交差物	緊急輸送路	橋長	幅員	建設年次	供用年数	点検年次	優先順位	判定区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	補修費合計(千円)
年度別補修費合計(千円)												72,600	81,600	92,200	92,100	96,100	690,600
1	無名橋01	市道大崎・矢筈線	その他道路		10.0	23.6	1994	26	2018	4	Ⅲ						10,600
2	祐徳橋	市道遊園地線	河川		22.0	7.3	1963	57	2017	7	Ⅲ	35,900					35,900
3	千本橋	市道千本線	その他	緊急輸送接続路線	9.0	4.2	1963	57	2018	8	Ⅲ	2,800					2,800
4	中尾橋	市道中尾線	河川		26.7	2.4	1978	42	2017	11	Ⅲ	23,300					23,300
5	土器橋	市道横田・井手分線	河川	緊急輸送接続路線	37.6	9.0	1978	42	2017	12	Ⅲ		24,400				24,400
6	峠一号橋	市道峠線	その他		3.5	4.0	1960	60	2015	110	Ⅲ	1,700					1,700
7	徳永橋	市道谷口・春木線	河川		12.1	4.0	1935	85	2018	3	Ⅱ	2,300					2,300
8	柿原橋	市道柿原線	河川		18.8	4.8	1974	46	2017	5	Ⅱ	7,300					7,300
9	板ノ坂橋	市道仏谷線	河川		7.5	4.2	1966	54	2018	6	Ⅱ	8,200					8,200
10	犬王袋橋	市道新町・世間線	河川		43.8	5.8	1973	47	2017	9	Ⅱ	7,800					7,800
11	越渡橋	市道母ヶ浦・古場城線	河川		11.5	4.4	1963	57	2017	14	Ⅱ	1,000					1,000
12	山下橋	市道池田線	河川		19.8	3.3	1977	43	2017	16	Ⅱ	5,600					5,600
13	亀清水橋	市道百貫線	用水路		5.6	8.4	1963	57	2015	17	Ⅱ	4,800					4,800
14	山浦橋	市道土穴・上古枝線	河川		16.9	5.6	1971	49	2017	18	Ⅱ	6,700					6,700
15	野島・駒越2号橋	市道野島・駒越線	その他		6.0	5.3	1978	42	2018	19	Ⅱ	2,700					2,700
16	弓木1号橋	市道本城・弓木線	河川		16.4	5.2	1977	43	2017	21	Ⅱ	6,600					6,600
17	小川内橋	市道中尾・鉢粉線	その他		7.1	4.9	1956	64	2018	23	Ⅱ	2,500					2,500
18	丸瀬橋	市道丸木庭・柿原線	河川		44.1	7.3	1999	21	2017	22	Ⅱ			8,600			8,600
19	鹿島大橋	市道井手・看場線	河川		298.0	8.8	1987	33	2018	20	Ⅱ			83,600	83,600		167,200
20	長野・坂山橋	市道長野・坂山線	河川		3.6	3.1	1973	47	2015	26	Ⅱ				2,600		2,600
21	日当山橋	市道日当山開拓線	河川		18.0	4.4	1964	56	2017	27	Ⅱ				3,800		3,800
22	本谷一号橋	市道本谷線	河川		6.2	9.9	1980	40	2018	28	Ⅱ				1,200		1,200
23	江内橋	市道百貫線	その他		6.3	8.8	1962	58	2018	30	Ⅱ				900		900
24	弓木2号橋	市道本城・弓木線	その他		14.4	4.8	1978	42	2017	31	Ⅱ					25,500	25,500
25	第二鴨川橋	市道鴨川線	河川		14.3	2.5	1964	56	2017	32	Ⅱ					4,200	4,200
26	弓木3号橋	市道本城・弓木線	その他		3.8	4.2	1973	47	2015	34	Ⅱ					4,200	4,200
27	無名橋01	市道中木庭・雨越線	その他道路		4.3	6.2	不明	-	2016	36	Ⅱ					2,900	2,900
28	小竜橋	市道小竜線	河川		31.2	4.8	1971	49	2017	37	Ⅱ					12,200	12,200
29	古湯橋	市道古湯線	河川		11.5	4.2	1963	57	2016	38	Ⅱ					5,000	5,000
30	母ヶ浦橋	市道母ヶ浦線	河川		14.7	4.6	1963	57	2017	39	Ⅱ					5,500	5,500
31	弥川内橋	市道辻・鉢粉線	河川		17.9	13.8	1992	28	2017	41	Ⅱ					19,300	19,300
32	片山橋	市道大殿分・伏原線	河川	緊急輸送接続路線	47.6	3.8	1964	56	2017	43	Ⅱ					13,400	13,400
33	大野橋	市道早ノ瀬・大野線	河川		5.2	4.2	1963	57	2018	42	Ⅱ					2,500	2,500
34	皿山橋	市道浜崎・石舟線	その他		5.8	6.2	1979	41	2018	48	Ⅱ					1,400	1,400

橋長3m未満橋梁の10箇年架替えスケジュール※本田橋は、床版抜け落ちの為架け替え予定

補修順位	橋梁名称	路線名称	交差物	緊急輸送路	橋長	幅員	建設年次	供用年数	点検年次	優先順位	判定区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	架替え費合計(千円)
年度別架替え費合計(千円)												21,900	0	0	0	3,197	14,717
1	本田橋	市道鹿島駅・乙丸線	その他		6.0	7.3	1936	84	2016	1	Ⅲ	21,900					17,900
2	新町・組知橋	市道新町・組知線	その他		2.2	3.6	1955	65	2015	10	Ⅲ					3,197	3,197
3	中牟田・御神松二号橋	市道中牟田・御神松線	用水路		1.8	16.0	1970	50	2015	15	Ⅲ						11,520

設計委託費	補修設計業務委託橋梁数	5橋	13橋	2橋	5橋	12橋
	補修設計業務委託費(橋/2000千円)	10,000	26,000	4,000	10,000	24,000
補修・架替え工事費	補修事業費	72,600	81,600	92,200	92,100	96,100
	架け替え事業費	21,900	0	0	0	3,197
	補修、架け替え事業費合計	94,500	81,600	92,200	92,100	99,297
	合計	104,500	107,600	96,200	102,100	123,297

点検費(千円)	点検橋数	91橋	101橋	76橋	44橋	3橋
	点検費(橋/500千円)	45,500	50,500	38,000	22,000	1,500

【様式1-2】

橋長3m以上橋梁の10箇年補修スケジュール

補修順位	橋梁名称	路線名称	交差物	緊急輸送路	橋長	幅員	建設年次	供用年数	点検年次	優先順位	判定区分	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	補修費合計(千円)
年度別補修費合計(千円)												49,700	50,500	49,100	50,300	38,500	690,600
35	城下陸橋	市道古場切・学校線	一般国道指定区間	一次緊急輸送路上	43.7	6.1	1994	26	2017	44	Ⅱ	17,800					17,800
36	土穴橋	市道西三河内・土穴線	河川		30.1	5.8	1978	42	2017	45	Ⅱ	11,500					11,500
37	黒川橋	市道黒川・下童線	用水路		3.9	10.5	1981	39	2015	49	Ⅱ	1,200					1,200
38	宮の前橋	市道中央線	河川		14.7	3.6	1964	56	2017	50	Ⅱ	4,000					4,000
39	八ヶ坂橋	市道八ヶ坂線	その他道路		34.0	6.0	1996	24	2017	51	Ⅱ	13,500					13,500
40	村中橋	市道本城・中木庭線	その他		4.3	13.0	1978	42	2015	56	Ⅱ	700					700
41	石木津・川内橋	市道石木津・川内線	用水路		3.2	5.3	1964	56	2015	57	Ⅱ	1,000					1,000
42	貝瀬橋	市道貝瀬・池田線	河川		30.2	4.7	1977	43	2017	54	Ⅱ		8,200				8,200
43	横断線二号橋	市道横断線	その他		7.1	6.7	1967	53	2018	59	Ⅱ		8,900				8,900
44	丸山陸橋	市道小寺・地藏線	一般国道指定区間	一次緊急輸送路上	43.0	7.1	1994	26	2017	61	Ⅱ						23,100
45	坂口橋	市道本城・中尾線	その他		8.5	4.7	1999	21	2018	59	Ⅱ		6,700				6,700
46	古枝三号橋	市道古枝線	用水路		4.4	4.1	1920	100	2015	62	Ⅱ		3,600				3,600
47	琴路橋	市道辻・吹上線	河川		36.0	5.2	1977	43	2017	64	Ⅱ				5,300		5,300
48	横沢橋	市道鹿島駅・乙丸線	河川		49.0	9.6	1978	42	2017	65	Ⅱ				7,600		7,600
49	深山橋	市道大木庭線	河川		37.5	4.7	1972	48	2017	76	Ⅱ				6,900		6,900
50	御神松橋	市道本町・御神松線	河川		66.1	6.2	1980	40	2017	80	Ⅱ				11,500		11,500
51	六角橋	市道龍宿浦線	河川		8.2	4.7	1980	40	2018	68	Ⅱ				500		500
52	無名橋03	市道中牟田・御神松線	その他		6.5	21.3	不明	-	2015	72	Ⅱ				2,600		2,600
53	乙丸橋	市道乙丸線	用水路		3.3	3.7	不明	-	2015	74	Ⅱ				300		300
54	道慶橋	市道鹿島駅・乙丸線	その他		5.7	8.6	1975	45	2017	77	Ⅱ				1,700		1,700
55	野島・駒越一号橋	市道野島・駒越線	用水路		4.3	5.4	1978	42	2015	82	Ⅱ				1,400		1,400
56	江福三号橋	市道江福三号線	河川		6.4	3.3	1968	52	2018	83	Ⅱ				1,300		1,300
57	松之坂橋	市道本城・中尾線	河川		14.9	10.8	1999	21	2017	86	Ⅱ				2,100		2,100
58	片方橋	市道本城・中尾線	その他		9.6	4.7	1999	21	2016	87	Ⅱ				4,200		4,200
59	多々良橋	市道古場切・浜漁港線	その他	緊急輸送接続路線	13.5	7.5	1994	26	2017	94	Ⅱ				3,700		3,700
60	古枝一号橋	市道古枝線	用水路		3.6	3.1	1963	57	2015	95	Ⅱ				2,900		2,900
61	江福一号橋	市道江福一号線	河川		4.3	3.5	1963	57	2015	96	Ⅱ				500		500
62	辻・馬渡橋	市道辻・馬渡線	その他		4.8	3.4	1965	55	2016	100	Ⅱ				600		600
63	大手門橋	市道新町・大手線	用水路		3.0	5.0	1966	54	2015	104	Ⅱ				3,500		3,500
64	小宮道橋	市道新宮道線	用水路		3.7	7.2	1936	84	2015	109	Ⅱ				1,000		1,000
65	鏡橋	市道平原線	河川		6.7	4.1	1964	56	2018	111	Ⅱ				800		800
66	水梨・花木庭一号橋	市道水梨・花木庭線	用水路		4.1	3.9	1977	43	2015	117	Ⅱ				5,500		5,500
67	東橋	市道飯田・門前線	河川		16.5	4.8	1976	44	2017	129	Ⅱ				6,400		6,400
68	本城橋	市道本城・中木庭線	河川		28.1	10.5	1978	42	2017	101	Ⅱ				20,400		20,400
69	岩岡通り一号橋	市道岩岡通り線	その他		7.2	4.5	1984	36	2018	125	Ⅱ				1,600		1,600
70	本谷二号橋	市道本谷線	その他		5.4	8.3	不明	-	2017	125	Ⅱ				1,200		1,200
71	世間・看塚一号橋	市道世間・看塚線	用水路		3.0	6.1	1965	55	2015	131	Ⅱ				4,700		4,700
72	長谷二号橋	市道長谷線	その他		4.6	4.1	1973	47	2016	139	Ⅱ				1,200		1,200
73	本町・学校一号橋	市道本町・学校線	その他		4.6	5.7	不明	-	2016	140	Ⅱ					1,100	1,100
74	無名橋	市道片郡・山上線	用水路		6.3	11.0	不明	-	2015	140	Ⅱ					1,800	1,800
75	大宮田尾橋	市道新宮道線	用水路		3.9	7.4	1973	47	2016	146	Ⅱ					3,300	3,300
76	大宮田尾橋	市道大宮田尾一号線	その他道路		16.2	5.0	1997	23	2017	148	Ⅱ					9,000	9,000
77	参楽橋	市道参楽通り線	河川	緊急輸送接続路線	41.5	6.5	1995	25	2017	166	Ⅱ					9,100	9,100
78	箱崎橋	市道江福一号線	河川		5.0	8.0	1984	36	2016	179	Ⅱ					3,900	3,900
79	十願寺橋	市道十願寺線	河川		15.4	7.0	1988	32	2017	188	Ⅱ					9,700	9,700
80	坂山橋	市道長野・坂山線	河川		6.7	4.7	1972	48	2018	195	Ⅱ					600	600

橋長3m未満橋梁の10箇年架替えスケジュール※本田橋は、床版抜け落ちの為架け替え予定

補修順位	橋梁名称	路線名称	交差物	緊急輸送路	橋長	幅員	建設年次	供用年数	点検年次	優先順位	判定区分	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	架替え費合計(千円)
年度別架替え費合計(千円)												0	0	0	0	11,520	14,717
1	本田橋	市道鹿島駅・乙丸線	その他		6.0	7.3	1936	84	2016	1	Ⅲ						17,900
2	新町・組知橋	市道新町・組知線	その他		2.2	3.6	1955	65	2015	10	Ⅲ						3,197
3	中牟田・御神松二号橋	市道中牟田・御神松線	用水路		1.8	16.0	1970	50	2015	15	Ⅲ					11,520	11,520

設計	補修設計業務委託橋梁数											7橋	5橋	13橋	13橋	9橋	
委託費	補修設計業務委託費(橋/2000千円)											14,000	10,000	26,000	26,000	18,000	
補修・架替え工事費	補修事業費											49,700	50,500	49,100	50,300	38,500	
	架け替え事業費											0	0	0	0	11,520	
	補修・架け替え費合計											49,700	50,500	49,100	50,300	50,020	
合計												63,700	60,500	75,100	76,300	68,020	

点検費(千円)	点検橋数											91橋	101橋	76橋	44橋	3橋	
	点検費(橋/500千円)											45,500	50,500	38,000	22,000	1,500	

